大腸ステント安全手技研究会
第 2 回運営委員会・世話人会 議事録

日時：平成 24 年 10 月 12 日（金）17：00～17：30
場所：神戸国際会議場『501』
参加者　世話人 35 名+賛助会員 2 社

1　　開会
2　　議事
（1）　第 2 回大腸ステント安全手技研究会について
東京大学伊佐山先生よりご挨拶があった。来年 5 月 12 日に行う予定。
できれば海外から大腸ステントで著名な先生を呼ぶ予定である。そこで本邦での前向き観察研究の結果と比較しディスカッションができればやりたい。
演題募集などの内容に関して、ホームページに載せていく予定。
（2）前向き観察研究の進行状況と登録内容の変更（CROSS の追加）について
現在まで 80 例の登録が行われています。また各施設へのステントの出荷状況を調べています。施設で出荷状況とステント登録が乖離していることがある。後で事務局より確認することがあります。

A.　　100 例での中間解析
100 例で中間解析を行います。11 月には達成される予定。早期の合併症で 10%の穿孔がなければ研究継続とする。事務局で解析を行い、結果は運営委員・世話人にメールなどでご報告する予定。

B.　　研究対象症例数・参加施設・研究期間　200 例登録後
今のところ登録ペースが速く 200 例が早めに達成する予定。症例を増やすか？期限（-2013.12）を延期するか？

駒込病院　小泉先生　症例をもう少し増やすほうがいいのでは？
がんセンター　山本先生　増やしたほうがいい。N を決めたほうがいい。
斉田先生　N を変えるとプロトコールの変更が必要になる。
島田先生　来年 12 月末までにすると症例数がふえすぎるのでは？

とりあえず 200 例を超えても第２回の研究会（５月）までは研究継続でいいと全員一致で決定。症例数や期限は次回 5 月の世話人会にて決定する。

C.　　CROSS について
東京大学と東邦大学から CROSS についてのデータの報告をした。今後も各施設で引用し、ご意見も頂きたい。

問い合わせ内容
各施設の問い合わせ内容を配布、今後まとめて注意点および Q&A としてホームページに掲載。また登録画面に一部変更点がありますのでご注意ください。登録した症例で以前のものは CROSS を追加で入れていただきたい。

（3）　会員・賛助会員・寄付金などの状況
事務局・榎本より会員状況、会計報告を行う。次回に会計監査を行う。
もう少しできれば収入を増やす必要があるので新しい会員と寄付を行っていただける企業を紹介してほしい。

（4）　新運営委員について
多く症例を入れていただいた先生に経験と熱意を研究会の運営に反映していただくために運営委員になっていただきたい。目安は 10 例程度で運営委員にかけます。

（5）　他の研究について
いろいろな問題点、たとえば化学療法などは？
新しいスタディーを始めたいのでアイデアがあれば事務局までご連絡ください。

（6）その他
登録 100 例目には斉田より個人的に素敵なものを贈ります。

3　閉会

参加者　35 名+賛助会員 2 社